

「泉北ライナー」に新型特急車両12000系を導入します

～平成29年2月(予定)営業運転開始～

泉北高速鉄道(社長:福田 順太郎)では、新型特急車両・泉北12000系を導入し、平成29年2月(予定)から特急「泉北ライナー」として、和泉中央～難波間の営業運転を開始します。

同車両は、南海本線の特急「サザン」として既に営業運転している南海12000系をベースとすることで投資額を抑制しながらも、外観・車内のデザインを大きく変更して個性あるものとしています。

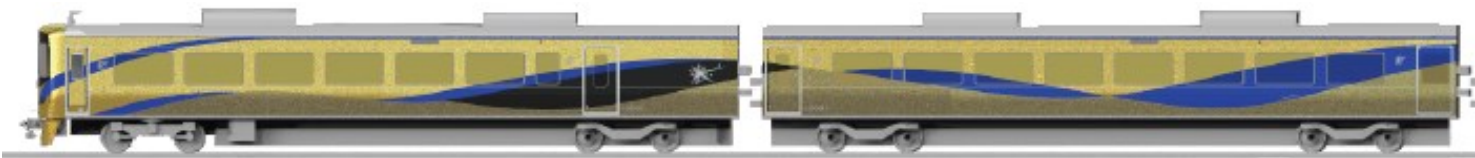
平成29年は泉北ニュータウンがまちびらき50年、トリヴェール和泉が同じく25年を迎えるアニバーサリーイヤーであり、当社ではこの車両にご注目いただくことでニュータウン活性化の一助となればと期待しています。

泉北高速鉄道は、今後もお客さまにより快適な輸送サービスを提供できるよう取り組んでまいります。



泉北12000系(イメージ)

1. 車両形式 泉北12000系
2. 編成数 4両×1編成
3. 運行路線 泉北線および南海高野線（和泉中央～難波間）
4. 営業運転開始 平成29年2月（予定）
5. 車両仕様 最大寸法 20,765mm（長さ）×2,820mm（幅）×4,140mm（高さ）
座席数 1編成あたり242席
6. デザイン 基本色を金色に青と黒のラインを施して煌びやかな外装とした一方、落ち着いてお客さまにくつろいでいただける内装としています。



車体側面（イメージ）

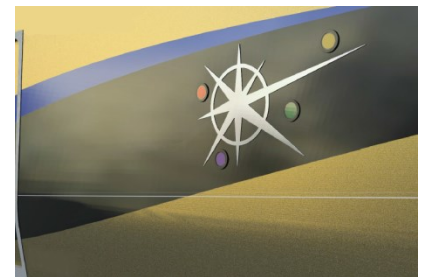


インテリアデザイン（イメージ）

泉北ライナー

SEMBOKU LINER

シンボルマークは中央の星が「新しさ」、周囲の4つの丸が「ニュータウンの4つの地域（泉ヶ丘・梅・光明池・トリヴェール和泉）」をそれぞれ表現しています。



シンボルマーク

7. 主な特徴

南海12000系をベースとして、下記の項目を追加・変更しています。

(1) 外装デザイン

和泉中央方先頭車両の車体側面には泉北ライナーのシンボルマークを配置し、ニュータウンの4つの地域（泉ヶ丘・梅・光明池・トリヴェール和泉）を表現する4つの丸を京都オパール[※]で装飾しています。

※京都オパールは京セラ株式会社の登録商標で、同社が装飾用素材として展開しているカラーオパールなどの合成オパールを総称した愛称です。

(2) 内装デザイン

ダークな木目を用いて落ち着きとやすらぎの室内空間を演出しています。

また、車両ごとにシート色をシンボルマークの4つの丸と同系色にしています。

(3) バリアフリー化を推進

液晶ディスプレイ式の車内案内表示装置を採用し、4か国語による表記や画像を用いた多彩な情報案内を行います。

(4) 環境への配慮

車内照明・前照灯を含め、すべての灯具にLEDを採用し、消費電力のさらなる削減を図っています。

以 上